

テーマ	自在湾曲可能なガラス製有機 EL パネル
-----	-----------------------------

戦略的基盤技術高度化支援事業補助金による共同開発

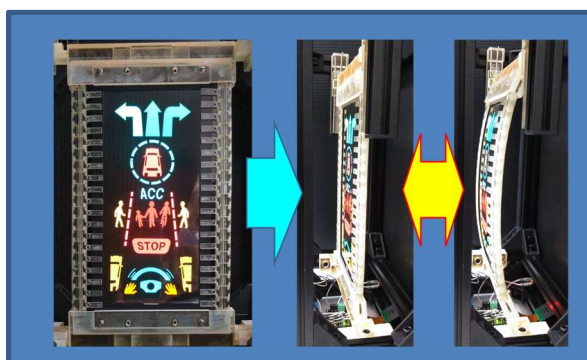
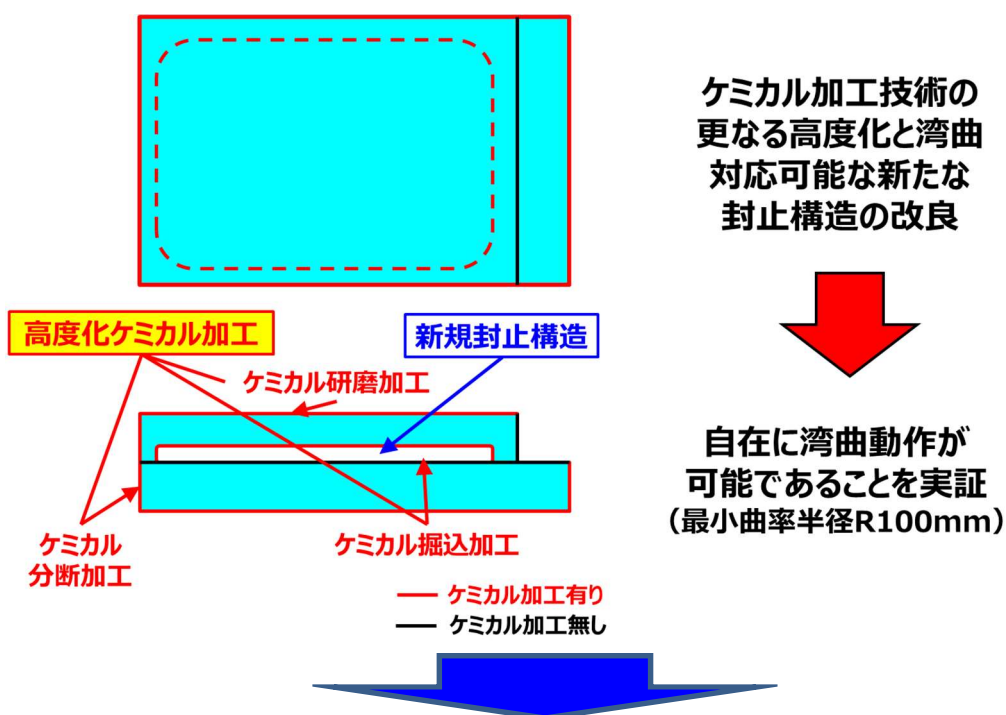
株式会社NSCは山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターと共同で車載環境に対応した湾曲対応ガラス製有機 EL パネルの開発を行っています

ポイント： ガラス封止による自在湾曲が可能な有機 EL パネルの実現

現状課題： 1. フィルム型は可変曲面を実現できるが、製造コストが高く、且つ車載用途の厳しい信頼性は未だ確保出来ていない

2. ガラス型はケミカル加工技術の高度化により、固定曲面は実現出来るようになったが、可変曲面は未だ実現出来ていない

ソリューション： ケミカル加工技術の更なる高度化と湾曲対応可能な新規封止構造の改良によりガラス型でも自在に湾曲させることが出来る有機 EL パネルを実現



■ 目標スペック

パネルサイズ：100 mm×200 mm

パネル厚さ：0.15 mm

可変曲面：曲率半径 R100 mm (最小)

■ 現在のレベル：開発中

■ 量産時期：2021 年度 (目標)

■ 特許出願中